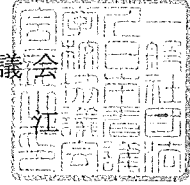


(一社)日看学協発 第 120 号

平成 30 年 2 月 23 日

厚 生 労 働 大 臣
加 藤 勝 信 様

一般社団法人日本看護学校協議会
会 長 池 西 静



要望書提出について

標記について、平成 30 年 2 月 23 日、次の要望書を別添のとおり提出致しますのでご検討賜りたくよろしくお願い申し上げます。

記

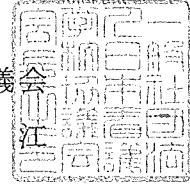
- I 第 104 回保健師・第 101 回助産師及び第 107 回看護師国家試験の
合否に関する要望書

(一社)日看学協発 第 120 号

平成 30 年 2 月 23 日

厚生労働大臣
加藤 勝信 様

一般社団法人日本看護学校協議会
会 長 池 西 静



第 104 回保健師・第 101 回助産師及び第 107 回看護師国家試験の
合否に関する要望書

平素から、一般社団法人日本看護学校協議会へのご指導・ご支援
賜り御礼申し上げます。

この度、第 104 回保健師・第 101 回助産師及び第 107 回看護師国家試験
が無事に実施されましたことは誠に喜ばしいことと存じ上げます。

さて、当協議会は、実施されました国家試験問題に関する情報を会員校等
から頂き、それらを更に検討し別紙（1-1-①、1-1-②、1-2、2、3）のとおり
まとめました。

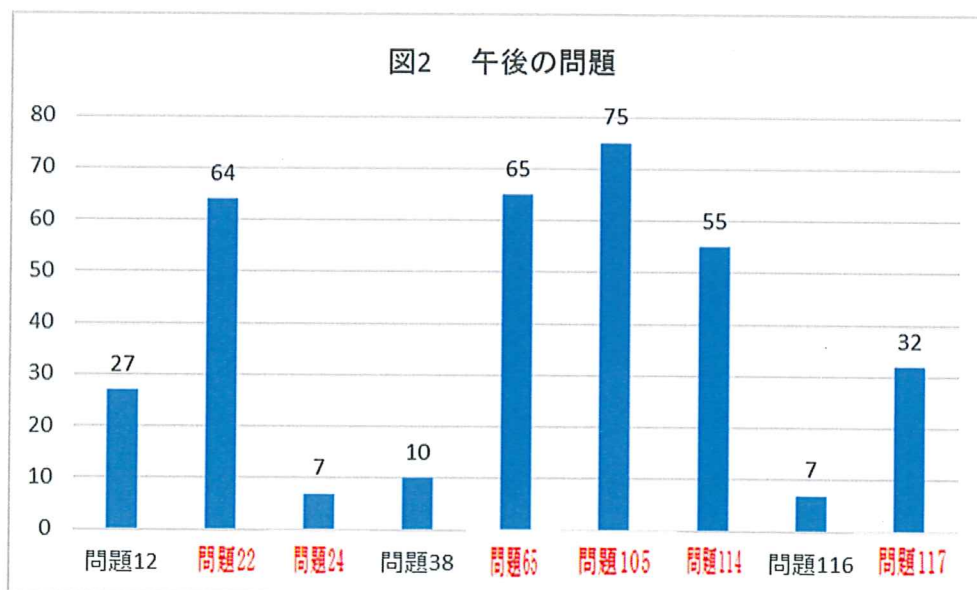
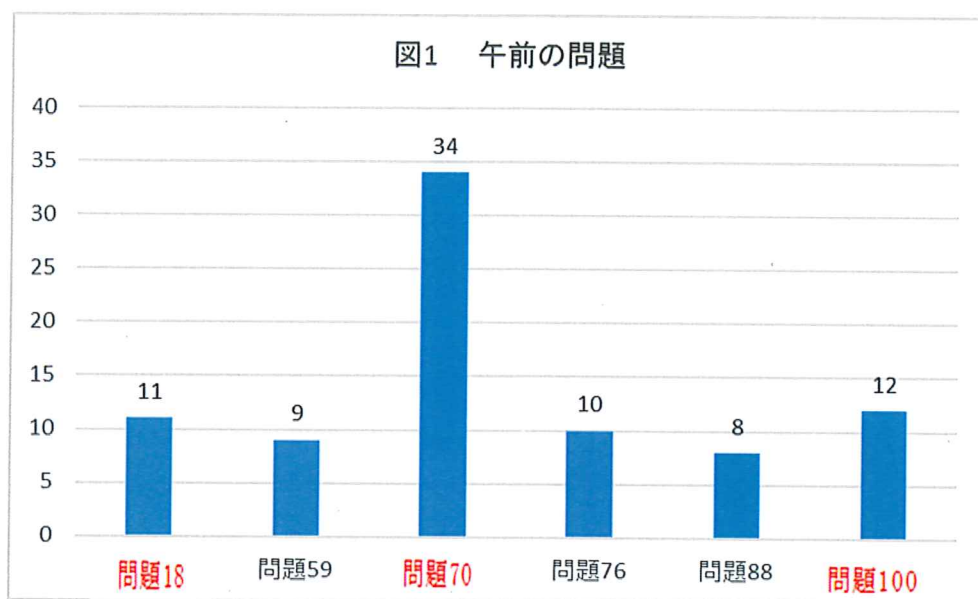
つきましては、保健師・助産師・看護師の質量の安定的確保のために、
別紙記載内容のご配慮と卒業時の到達目標等も考慮頂きました上で、望まし
い方向での審査をして下さいますようお願いを申し上げます。

なお、別紙にまとめました問題の取り扱い結果のご回答を頂きたく宜しく
お願い申し上げます。

第 107 回 看護師国家試験問題の不適切と思われる問題について

情報提供施設数 151(内非会員校 5 校)から寄せられた不適切と思われる問題について、5%(7 施設)を目処に、その問題番号と指摘したと施設数を下図に表しました。

指摘された各問題を当協議会の「国家試験対策委員会」が精査した結果、午前の問題(18、70、100)、午後の問題(22、24、65、105、114、117)を不適切問題と判断し、その理由(別紙 1-1-②)と共に提出します。



第 107 回 看護師国家試験問題の不適切と思われる問題について

午前

18	<ul style="list-style-type: none"> ・「開かれた質問」という場合、3. 4. のどちらも正解と考えられる。 ・オープンクエスチョンと解答できる選択肢が 2 つある。
70	<ul style="list-style-type: none"> ・医学診断であり、看護師国家試験としては不適切。(難易度が高すぎる) 看護師の基礎として何を問いたいのか意図が不明確である。
100	<ul style="list-style-type: none"> ・最も必要な選択肢がないのでは？卵アレルギーであることは分かっている事なので蕁麻疹が出現するのは当然であり、むしろアナフィラキシーショックの状況を考慮すべきと考えられる。その場合は、「呼吸困難」の状態の観察が重要と考えるが、その選択肢がない。示された選択肢からでは 2 と 4 で迷わせたと言える。

午後

22	<ul style="list-style-type: none"> ・正答がない。「1」が誤っているため、「4」を選んだ学生が多い。また、臨地実習場面において実際の採血後の看護師は数分の圧迫止血を実施するよりも、止血用パッド絆創膏や酒精綿で圧迫貼付などを実施して見せていることが多い現状から「4」を選ぶ可能性が高い。 ①社団法人 日本臨床衛生検査技師会 静脈採血推奨法では、以下のように記されている。 <ul style="list-style-type: none"> * 駆血帯は 1 分以上巻いたままにしない様に注意する。<血液凝固が起こり、血液が組織に浸潤し血腫が形成されることもある。血液濃縮で蛋白濃度が高値になる。血液細胞数値が間違っ高くなることもある。> * 通常 2~3 分間 圧迫止血すると良い。 ②各社の看護技術系テキストでは、以下のように記されている。 <ul style="list-style-type: none"> * 駆血時間は「1 分以内」 * 圧迫止血は「5 分程度」
24	<ul style="list-style-type: none"> ・選択肢 4「発疹」は広義に捉えれば、水泡や白斑も有する概念である。そうであれば、選択肢 2「水泡」や選択肢 3「白斑」も発疹に該当する。用語の定義に沿わない選択肢の設定であると言える。
65	<ul style="list-style-type: none"> ・正解が 2 個考えられる。3. 外出前に尿を廃棄するのは外観、汚染の心配から必要はある、4 も感染予防のためには必要であり、2 つの正答が考えられる。
105	<ul style="list-style-type: none"> ・4 以外は正解と考えられるが、適切とは言えない。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 水分摂取は必要であるが、積極的にという表現はあいまいである。 2. 「記録する」とあるが、同時に「受診をすすめる」が妥当と言える。 3. 成長期にある患児の蛋白質制限は慎重に行なう。 いずれにしても、13 歳の男児にする指導としてはあいまいで効果的なものではない。
114	<ul style="list-style-type: none"> ・1・4 どちらも間違いとは言えない。環境条件が不明であり迷いを生じさせる。
117	<ul style="list-style-type: none"> ・消去法で解答するとバイタルサイン測定となるが、この状況設定からは、情報が不足しており正答を出しにくい。

第 107 回看護師国家試験 会場等に関する問題・要望について

次のとおり、事前の通知内容（詳細）の徹底、試験会場の環境改善や、職員の対応の差の是正などを要望いたします。

I 事前通知等に関する件

1. 問い合わせに対すること

1) 正確な回答をお願いしたい。

試験会場の詳細についての問い合わせ先が「看護師国家試験運営本部事務所(東京)」となっているので、そこへ開場時間等について問い合わせたところ、「例年その会場を使っているのか？」と逆に質問されたうえ、「試験開始の 30 分前には開場できると思う」など曖昧な回答だった。

2) 前日の土曜日に、直前の相談窓口などを設けて頂けたら有り難い。

2. 受験票に関することについて

1) 受験番号が不鮮明、枠を外した印刷などあった。

このことでは、『縁起が悪い、不合格の暗示だ』など、学生が不必要な動揺をした。

2) 「受験番号に関する重要なお知らせ」には、受験番号を「運営本部事務所から、2 月 8 日（木）までに改めて受験番号を周知いたします。」と記載されていたが、到着したのは 2 月 9 日（金）であり、投函日が 2 月 7 日だった。学生への配布予定があるため期日は守ってほしい。また、遅れる場合は連絡をいただきたい。

3. 試験案内や試験会場での配慮について

1) 「第 107 回看護師国家試験受験者留意事項」に詳細な留意事項の記載がなかった。

(会場の見取り図—特にトイレの配置, 試験室内の配置図, 開場時間の目安, 付き添い職員への留意事項等)

2) 「第 107 回看護師国家試験受験者留意事項」の「試験室区分」において、例年、試験本部の記載があったが、今回は記載がなかった。

そのため、看護師国家試験運営本部事務所に問い合わせをしたが、当日の掲示物で確認をするようにという回答であった。当日、わかるように掲示はされておらず、試験室前の座席表に試験本部が記載されているだけであった。(掲示されていたのかもしれないが、当日何人かの教員で掲示物を探したが、見つけることができなかった。)

3) 一つの学校からの受験生を 2 つの会場・教室に分けて配置することはやめて頂きたい。

4 校から困惑したとの訴え。

・ 33 名の学生が、2 つの教室に 66 名中に 15 名と 228 名中に 18 名と分断された。

試験会場の教室の状況と受験番号から、前後には余裕がある状況なのに、何故分けられたのか甚だ疑問です。

・ 42 名分を一括し願書を提出したが、40 名と 2 名は、受験番号が 400 番の差で采配され、試験会場も 2 つに分けられた。

その結果、宿泊ホテルからの交通手段、昼食の手配なども 2 か所の試験会場向けに考えることになりました受験番号が順当に連番であれば、同じ会場であったはずですが。一括で願書を提出したのにもかかわらず、400 番も離れた受験番号に誤りはないか心配で、国家試験本部

事務所に確認したところ、『単純な事務作業の結果だ』との説明を受けた。
今でも何故連番ではなかったのか疑問であり、釈然としない。

- ・ 学校からの出願にも関わらず、受験票の一部が連番ではなく、教室も5つに分かれていた（福岡県）
 - ・ 33名がサンメッセ香川の会場、5名が香川大学に分けられた。
サンメッセ香川の会場はかなり広く余裕があった。
本校は、県外からの受験になるので、宿泊先から会場に向かうことになるが、2つの会場の距離が、タクシーで20分もかかる場所であり、早朝のタクシーの手配に苦慮した。
- 4) 案内文書には、【一律に自家用車、マイクロバスなどの敷地内進入禁止】と記載があるが、現地の状況に合わせた内容にして頂きたい。
理由；宮城県では、両方ともOKであった。
- 5) 開場時間の事前のお知らせを頂きたい。
- 6) 引率教員に対する件について
- (1) 教室への入室がOKという会場、ロビーまでは良いが教室へは入室禁、ロビーへも禁止など様々であった。
 - (2) 受験会場の建物内に立ち入ることができないということを、当日その場で知らされた。
これまで例年、会場内に立ち入ることができていたこと、試験監督のいる時間帯以外は教室内にも入ることができていたことなどから、大きく戸惑った。
「第107回看護師国家試験受験者留意事項」にも明記されておらず、何も通知がなかった。
事前に通知をするなど配慮頂きたい。
(当日朝に試験本部に確認した際に、立ち入り禁止と言われた場所に、多くの学校関係者が立ち入りしており容認されていた。)

II 当日の試験会場等について

1. トイレに係る件について

- 1) 数が不足； 香川県、東京都（立教大学— 女子トイレが少なかった）
- 2) 屋外への配置数は増やされていたが、屋内トイレに殺到する状況が見られた。
- 3) 階段教室の5人席に3人掛けであったが、真ん中の方が、トイレに立つ場合、端に座っている学生が必ず立ち上がらなければならない状況であった。（香川大学）

2. 会場環境について

- 1) 暖房設備が整っていないところがあった。
例；・香川大学 — 「これ以上には上げられない・上がらない」とのことで寒い状態であった。
・引率教員の待機場所の暖房などの配慮もなかった。
- 2) ホワイトボードの掲示物が見えにくい（サンメッセ香川）。
各列にホワイトボードが1個設置されていたが後方は見えにくかった。
また、ホワイトボードに掲示物が沢山貼られておることでも見えにくくなっていた。
- 3) 長机がガタガタと不安定で集中できなかった（徳島県）。
- 4) 床が埃で汚かった（徳島県）。

3. 試験官に関する件

- 1) 受験生が何か書くなどの動作中に説明が進められ、大変であった。
- 2) 試験官の間で事前に確認や打合せがされていないのか、試験官により説明内容が異なり、受験生たちから笑われてしまうほどに修正する場面が多く見られた。
国家試験の試験官であるため、不信感をもたれるようなことが無いように適切な打合せや言動の統一をお願いしたい。
(受験地：福岡県、受験会場：第一薬科大学、教室名：本館3階 320A、320B)

III 感染症対策及び周知について

今年度の国家試験前は、インフルエンザA型B型の同時流行など、大変健康管理には苦慮した感染症対策や通知などの徹底をお願いしたい。

- * 試験2日前に学生がインフルエンザを発症したので、別室受験等についての問い合わせを厚生労働省の運営本部にしたが、具体的で明確な回答がなく、『当日試験会場で申し出るように』との説明のみであった。
診断書の必要性の有無についてもあやふやな回答で大変不安になった。
- * 当日に別室受験を希望する場合は、インフルエンザに罹患し、高熱で体調が悪いなか学生自ら試験本部を探し回ることがないような配慮をして頂きたい。
事前に試験本部の場所を記載して頂くか、会場の入り口前（大学であれば正門前）に掲示するなど。